

2019 年度 教員の自己点検・自己評価報告書

所属学部 学科	職位	氏 名
経営学部 地域ビジネス学科	教授	手嶋 慎介
最終学歴	学 位	専門分野
愛知学院大学大学院経営学研究科博士後期課程 単位取得満期退学	修士 (経営学)	経営学

I 教育活動

○目標・計画

(目標)

キャリアデザインに関する知識・スキルを身につけ、ビジネス社会で通用する実践力・オンラインの特長を有し、地域で活躍できる職業人を養成する。

(計画)

学生のキャリアデザイン・ビジネス実務能力育成に結びつくような、受講学生に適した授業法・学習法および教材を検討し作成する。

○担当科目 (前期・後期)

(前期)

インターンシップ事前事後指導、インターンシップ、キャリア基礎 I A、専門プロジェクトⅢ、総合演習 I、専門演習 I

(後期)

ビジネス実務演習、専門プロジェクトⅣ、総合演習Ⅱ、専門演習Ⅱ、インターンシップ

○教育方法の実践

京都で実施されている地域と連携した PBL 授業の報告会 (同志社大学ほか) に学生とともに参加するなどの課題発見・解決型学習を行い、学部全体に (株) マイナビ主催「キャリアインカレ 2019」への参加を募るなど、理論と実践の反復に向けた学習機会の構築に努めた。

○作成した教科書・教材

社会人になる前に身に付けたい、社会人になってからも役に立つことをねらいとした共著書『よくわかる社会人の基礎知識』(ぎょうせい、2019 年 4 月) において、「これからのキャリア形成と就業意識」について執筆した。今年度より教科書として活用をはじめた

○自己評価

「ビジネス実務演習」「専門プロジェクト」やゼミ活動を中心に、協同学習など「アクティブ・ラーニング」の授業を展開、学生のキャリアデザインを主体的に考えさせる教育活動を行うことができ、当初の目標・計画については、おおむね達成することができたといえる。

II 研究活動

○研究課題

地域・産学連携 PBL を核としたビジネス系専門教育に関する実践研究

○目標・計画

(目標)

経営学・キャリア教育分野に貢献することを目指して、地域・産学連携 PBL 等の実践的教育に関する理論的・実証的研究や、新しい学習・教育手法の導入のための授業実践を通して研究課題に

接近する。

(計画)

本年度は、これまで取り組んできた地域・産学連携 PBL 等に関する研究を日本ビジネス実務学会等で発表する。なお、研究成果については、学術書等として公刊するなど、広く社会に情報発信する。

○2012年4月から2020年3月の研究業績（特許等を含む）

(著書)

- 岡野絹枝、清水たま子編、手嶋慎介、平田祐子、吉田智美、中原亜紀美、若生眞理子、朱宮裕子、岡野大輔、西川三恵子、高宮貴代美、河合晋『よくわかる社会人の基礎知識～マナー・文書・仕事のキホン～』ぎょうせい、2019年4月
- 愛知東邦大学地域創造研究所編、大勝志津穂、梶山亮子、手嶋慎介、加納輝尚、山本恭子、上野真由美、船木恵一、深谷和広、阿比留大吉、河合晋、水野英雄、奥村実樹、若月博延『地域が求める人材』唯学書房、2019年3月
- 吉沢正広編著、明山健師、井上善美、関谷次博、手嶋慎介、鳥居陽介、山内昌斗、山縣宏寿、吉沢壮二郎『実学 企業とマネジメント』学文社、2018年3月
- 折戸晴雄、根木良友、山口圭介編著、日本インターンシップ学会東日本支部監修、手嶋慎介（分担執筆、他34名）『インターンシップ実践ガイドー大学と企業の連携ー』玉川大学出版部、2017年3月
- 古閑博美編著、中村真典、手嶋慎介、牛山佳菜代、Morgen Chaudeler、須藤功、椿明美、関由佳利『インターンシップ<第二版>ーキャリア形成に資する就業体験』学文社、2015年3月
- 平野文彦編著、手嶋慎介 第V部「人と仕事」をマネジメントする」3.「社会的企業を基盤とした人材育成モデルの検討ー短期インターンシップの実施体制に関する実態調査を中心にー」（分担執筆、他26名）『経営者育成の経営学ー脈打つ Goodwill を基盤としたダイナミズム』櫻門書房、2015年3月
- 吉沢正広編著、井上善美、関谷次博、手嶋慎介、鳥居陽介、平尾毅、藤田順也、祝田学、山内昌斗、山縣宏寿『やさしく学ぶ経営学』学文社、2015年3月
- 愛知東邦大学地域創造研究所編、大勝志津穂、長谷川望、藤重育子、高間佐知子、小柳津久美子、手嶋慎介、宮本佳範、加納輝尚、河合晋『学生の「力」をのばす大学教育ーその試みと葛藤』唯学書房、2014年11月
- 愛知東邦大学地域創造研究所編、宗貞秀紀、堀篤実、吉村譲、肥田幸子、宮本佳範、手嶋慎介、松村幸四郎『人が人らしく生きるためにー人権について考える』唯学書房、2013年7月
- 全国大学実務教育協会編、池内健治監修、鈴木浩子、高橋修、坪井明彦、手嶋慎介『接客のプロを目指す人のためのサービス実務入門』日経BP社、2013年3月

(学術論文)

- 米本倉基、大重康雄、坂本理郎、高橋眞知子、手嶋慎介「学会員ニーズ調査に基づくチーム研究の在り方検討ー学会ワーキング・プロジェクトからの報告ー」『ビジネス実務論集』No. 37、2019年3月
- 手嶋慎介、梶山亮子「地方公務員を目指す学生の内的キャリア形成についての一考察ー公務員試験対策プログラム受講者へのアンケート調査をもとにー」『東邦学誌』第47巻、第1号、2018年6月、pp. 111-135
- 手嶋慎介「産学連携 PBL の実践事例の検討ー寄付型自販機設置プロジェクトを中心にー」愛知学院大学論叢『経営学研究』第25巻第1・2合併号、2016年2月、pp. 1-12

- ・手嶋慎介「地域連携 PBL の試行的実施の成果と課題—名古屋市名東区を舞台としたゼミ活動における就業力育成—(2)」『東邦学誌』第 43 巻、第 1 号、2014 年 6 月、pp. 47-56
- ・岡野大輔、加納輝尚、河合晋、手嶋慎介「就業力育成を目的とした取組事例の比較検討—就業力育成融合モデルの構築に向けて—」『金城紀要』第 38 巻、2014 年 3 月、pp. 51-61
- ・加納輝尚、岡野大輔、河合晋、手嶋慎介「ジェネリックスキル育成の観点からみたインターンシップの取組に関する—考察—中部・北陸地区の高等教育機関におけるインターンシップ及び PBL の取組事例の比較を通して—」『富山短期大学紀要』第 49 巻、2014 年 3 月、pp. 87-102
- ・河合晋、町田由徳、手嶋慎介、岡野大輔、加納輝尚「現代ビジネス学科における PBL の取組に関する課題について」『学術教育総合研究所所報』第 7 号、2014 年 3 月、pp. 11-24
- ・手嶋慎介「地域連携 PBL の試行的実施の成果と課題—名古屋市名東区を舞台としたゼミ活動における就業力育成—(1)」『東邦学誌』第 42 巻、第 2 号、2013 年 12 月、pp. 31-43

(学会発表)

- ・岡野大輔、手嶋慎介、河合晋『ビジネス実務を考える～「よくわかる社会人の基礎知識」刊行にあたって～』2019 年度日本ビジネス実務学会中部ブロック研究会、金沢星稜大学、2020 年 1 月
- ・山本玲子、河合厚志、手嶋慎介『つながる・ひろがる読谷村プロジェクト 1.0』2019 年度日本ビジネス実務学会中部ブロック研究会、金沢星稜大学、2020 年 1 月
- ・島袋泰志、阿比留大吉、河合厚志、手嶋慎介『大学の教育プログラムと連動したスタートアップビジネスの事例報告～TOHO Learning House の仕組みと実績～』2019 年度日本ビジネス実務学会中部ブロック研究会、金沢星稜大学、2020 年 1 月
- ・手嶋慎介、島袋泰志『読谷村をフィールドとするキャリア教育プログラムの構築—読谷村インターンシップ・PBL 事例を中心に—』関西ベンチャー学会第 4 回中部経済研究部会・第 24 回九州研究部会合同研究会、愛知東邦大学、2019 年 8 月
- ・坂本理郎、手嶋慎介『JAUCB 受託研究報告 地域・産学連携事業の実践を通じたモデルの探求「企業従業員と学生コラボチームによる業務課題解決プロジェクト」』日本ビジネス実務学会第 38 回全国大会、目白大学、2019 年 6 月
- ・島袋泰志、阿比留大吉、河合厚志、榊直樹、手嶋慎介、寺島雅隆、山極完治『読谷村インターンシップ・PBL の現状と課題—読谷村村長推薦入学生による活動事例をもとに—』日本ビジネス実務学会第 38 回全国大会、目白大学、2019 年 6 月
- ・山本玲子、上條憲二、榊直樹、手嶋慎介、深谷和広、船木恵一『ビジネスプランコンテスト出場プロセスにおける主体的学びとその支援』日本ビジネス実務学会第 38 回全国大会、目白大学、2019 年 6 月
- ・手嶋慎介、奥村実樹、加納輝尚、河合晋、黒野伸子、堂野崎融、西川三恵子、信川景子、若月博延（中部ブロック研究会共同研究者）『JAUCB 受託研究成果報告』2018 年度日本ビジネス実務学会中部ブロック研究会・近畿ブロック研究会合同研究会、新大阪丸ビル別館、2019 年 2 月
- ・手嶋慎介、阿比留大吉、葛岡亮哉『教育寮における起業家育成の可能性—自主運営寮「TOHO Learning House」の事例をもとに—』関西ベンチャー学会第 3 回中部経済研究部会・第 22 回九州研究部会合同研究会、岡崎・セントラルホテル、2018 年 6 月
- ・加納輝尚、山本恭子、上野真由美、手嶋慎介『地域・産業界との協働をめざすプレゼンテーション教育の可能性—プレゼンテーション基礎教育に基づく取組事例—』日本ビジネス実務学会第 37 回全国大会、徳島文理大学、2018 年 6 月
- ・山本恭子、上野真由美、加納輝尚、手嶋慎介『ビジネス実務におけるプレゼンテーション教育・学習法の再検討—他者評価を重視したプレゼンテーション取り組み事例—』平成 29 年度日本ビ

ビジネス実務学会中部ブロック研究会、岡崎女子大学・岡崎女子短期大学、2018年1月

- ・梶山亮子、手嶋慎介『地方公務員を目指す学生の内的キャリア形成支援について』日本ビジネス実務学会第36回全国大会、神戸大学、2017年6月
- ・手嶋慎介『職業実践力育成プログラムの開発ー就業力育成教育プログラムからのアプローチ』日本ビジネス実務学会第35回全国大会、金城大学・金城大学短期大学部、2016年6月
- ・手嶋慎介『地域活性化のための産学連携事例研究ーNPO法人寄付型自販機推進機構プロジェクトを中心にー』関西ベンチャー学会中部経済研究部会、岡崎・セントラルホテル、2015年10月
- ・手嶋慎介『ソーシャルビジネスとしてのPBLの限界と可能性ー寄付型自販機設置プロジェクトにおける失敗点に着目してー』日本ビジネス実務学会第34回全国大会、鹿児島女子短期大学、2015年6月（日本ビジネス実務学会奨励賞「発表の部」受賞）
- ・手嶋慎介、井上奈美子、奥村実樹、加納輝尚、河合晋、和田早代『2013年度JAUCB助成研究報告「学生の学びを深める学習法の研究ーサービス実務における学習法」』日本ビジネス実務学会第33回全国大会、札幌国際大学、2014年6月
- ・坪井明彦、鈴木浩子、手嶋慎介、高橋修『2012年度JAUCB助成研究報告「サービス実務入門テキスト作成」』日本ビジネス実務学会第32回全国大会、福島学院大学、2013年6月
- ・手嶋慎介、岡野大輔、加納輝尚、河合晋『「地域活性化PBL」を通じたジェネリックスキル育成ー「チーム活動」から「個の主体的活動」への展開と意図せざる育成効果ー』、日本ビジネス実務学会第32回全国大会、福島学院大学、2013年6月
- ・手嶋慎介、岡野大輔、加納輝尚、河合晋、野添雅義『四大と短大の就業力育成融合モデルの検討』平成24年度日本ビジネス実務学会中部ブロック研究会、名古屋経営短期大学、2013年1月
- ・手嶋慎介『地域連携PBLを通じた「しごと能力」育成の可能性ー地域におけるプロジェクト実践事例の分析を中心にー』しごと能力研究学会第5回全国大会、愛知学院大学・楠元キャンパス、2012年10月
- ・手嶋慎介『地域連携による短期インターンシップの実施体制の現状と課題ー大学と社会的企業の連携事例の比較調査を中心にー』日本インターンシップ学会第13回大会、玉川大学、2012年9月

(特許)

- ・なし

(その他)

- ・地域を考える研究会 [SGCR: Study Group to consider the region]、愛知東邦大学地域創造研究所地域ブランディング研究部会『九州共立×愛知東邦「地域を考える研究会」』全体司会進行、九州共立大学、2020年2月
- ・地域ブランディング研究部会『地域プロモーターとして学生寮TOHO Learning House 5.0ー～長期的持続可能な運営を目指して～』主査、コーディネーター、愛知東邦大学地域創造研究所第53回定例研究会、愛知東邦大学、2019年12月
- ・地域ブランディング研究部会『私たちの「前に踏み出す力」は、地域の創造につながるのかー「つながる・ひろがる読谷村プロジェクト」キックオフミーティング～』主査、コーディネーター、愛知東邦大学地域創造研究所第51回定例研究会、愛知東邦大学、2019年7月
- ・人材育成研究部会『プレゼンテーション教育は「地域が求める人材」の育成に資するのかー地域・産学連携の視点から～』主査、コーディネーター、愛知東邦大学地域創造研究所第50回定例研究会、愛知東邦大学、2019年6月
- ・パネルディスカッション『ビジネス実務におけるプレゼンテーション教育・学習法の再検討ー企

業／起業と商業教育の視点からー』コーディネーター、平成 29 年度日本ビジネス実務学会中部ブロック研究会、岡崎女子大学・岡崎女子短期大学、2018 年 1 月

- ・特色ある取組事例『産学連携による人材育成ー愛知東邦大学×榊名古屋グランパスエイトの取組を中心にー』コーディネーター、平成 28 年度日本ビジネス実務学会中部ブロック研究会、中部学院大学、2017 年 1 月
- ・手嶋慎介『企業が求める人材 大学で育成できるか』愛知人事問題研究会 講演、愛知学院大学・栄サテライトキャンパス、2015 年 9 月
- ・手嶋慎介『地域をフィールドとしたゼミ／プロジェクト活動に関する考察』愛知東邦大学地域創造研究所第 45 回定例研究会、愛知東邦大学、2015 年 6 月
- ・正岡元、手嶋慎介、大勝志津穂、寺島雅隆、小柳津久美子、成田良一「2013 年度共同研究：(研究課題)「大学におけるスマートフォン・タブレット端末の活用手法の研究と開発」活動成果報告」『東邦学誌』第 44 巻、第 1 号、2015 年 6 月、pp. 179-192
- ・愛知県教育委員会及び愛知県産業労働部 共同事業「キャリア教育コーディネート人材育成事業」愛知県地域人づくり事業インターンシッププログラム『がっちりガチ系インターンシップ～のりかべプロジェクト～成果報告会』コメンテーター、NPO 法人アスクネット主催、愛知県産業労働センターウインクあいち 1204 会議室、2015 年 3 月 28 日
- ・手嶋慎介、井上奈美子、奥村実樹、加納輝尚、河合晋、和田早代『2013 年度 JAUCB 受託研究報告書「学生の学びを深める学習法の研究ーサービス実務における学習法」』一般財団法人 全国大学実務教育協会 公式 Web ページ (<http://www.jaucb.gr.jp/news/index.php?mode=view&id=115>)、2015 年 3 月 2 日
- ・中山孝男・手嶋慎介、大勝志津穂、正岡元、小柳津久美子「2012 年度共同研究：(研究課題)「iPod touch/iPad を利用した教育手法の開発と研究」活動成果報告書」『東邦学誌』第 43 巻、第 2 号、2014 年 12 月、pp. 127-139
- ・手嶋慎介、奥村実樹、加納輝尚、河合晋『モーニングワークショップ テキスト「サービス実務入門」の授業への導入スキル』平成 25 年度日本ビジネス実務学会中部ブロック研究会、IT ビジネスプラザ武蔵、2014 年 1 月
- ・手嶋慎介『「専門演習」と「総合演習」における PBL 実践の比較検討』全学 FD 研究会、愛知東邦大学、2013 年 8 月
- ・手嶋慎介「企業が求める人材 大学で育成できるか」『中部経済新聞「オピニオン AGORA」』中部経済新聞朝刊、2013 年 5 月
- ・シンポジウム『就業力育成に向けたビジネス実務教育における取組み事例』シンポジスト、日本ビジネス実務学会第 31 回全国大会、広島女学院大学、2012 年 6 月

○科学研究費補助金等への申請状況、交付状況（学内外）

- ・愛知東邦大学地域創造研究所 2019 年度共同研究助成（地域ブランディング研究部会・主査）採択
- ・愛知東邦大学地域創造研究所 2020 年度共同研究助成（地域ブランディング研究部会・主査）申請中

○所属学会

関西ベンチャー学会、経営行動科学学会、組織学会、日本インターンシップ学会、日本経営学会、日本賃金学会、日本ビジネス実務学会、日本労務学会

○自己評価

本年度は、著書 1 および複数回の学会発表に加え、大学間連携協定を締結する九州共立大学における共同研究会の開催、地域創造研究所共同研究を主査として新たにスタートさせるなど、研究の基盤整備に注力することができた。当初の目標は概ね達成することができた。

Ⅲ 大学運営

○目標・計画

(目標)

学生委員会委員長として、大学祭運営や学生寮運営等の学生支援に注力する。また、産学連携推進委員会委員として、産業界と連携する活動に積極的に関与するとともに、経営学部執行部として学部・学科の充実を図り、大学運営に貢献する。

(計画)

学生支援としては、大学祭等の学内行事活発化、学生寮運営等に関する改善を通して充実させる。産学連携としては、中部経済連合会への加入等の新たな動きに対し、教育研究機関として大学の基盤整備につながるよう努めるとともに、経営学部執行部として学部の特色づくりに取り組む。

○学内委員等

経営学部執行部、学生委員会委員長、産学連携推進委員会委員

○自己評価

学部の特色づくりとして、産官連携による『専門プロジェクト』の企画と実施、職業実践力育成プログラムの改善と実施、研究所定例研究会の企画と実施を通じた学生による取り組み支援等、大学広報につながる教育研究活動充実に貢献した。当初の目標は概ね達成することができた。

Ⅳ 社会貢献

○目標・計画

(目標)

地域企業等との関係を深めるとともに、所属する学会・NPO 活動等に積極的に関与し、若年者育成事業等に貢献する。

(計画)

地域・産学連携 PBL 等に関連した地域活動や、愛知中小企業家同友会主催のインターンシップ事業に参画する。学会・NPO の役員としてネットワーク形成に努める。

○学会活動等

日本ビジネス実務学会常任理事 2019年6月～現在に至る

日本ビジネス実務学会編集委員会委員長 2019年6月～現在に至る

日本インターンシップ学会東日本支部運営委員 2015年7月～現在に至る

日本ビジネス実務学会理事 2017年6月～2019年6月

日本ビジネス実務学会中部ブロック研究会運営委員会リーダー 2015年6月～2019年6月

○地域連携・社会貢献等

2019年度安城学園高等学校3年生創作活動(総合的な探求)「未来対話(フューチャーセッション)」後期学習発表会及び意見交換会へのゲスト参加、安城学園高等学校、2019年11月28日(金)

特定非営利活動法人 寄付型自販機推進機構 副理事長 2013年12月～現在に至る

○自己評価

担当科目でもあるインターンシップに関連し、愛知中小企業家同友会のインターンシップ事業へ参画するなど、地域の若年者育成に貢献することができた。日本ビジネス実務学会では、総務・企画委員会委員、編集委員会委員長として学会運営に貢献することができた。

Ⅴ その他の特記事項(学外研究、受賞歴、国際学術交流、自己研鑽等)

平成 28 年 4 月より「職業能力開発促進法」に規定された「キャリアコンサルタント（国家資格）」名簿に登録し 4 年目となるため、引き続き活動の充実に努めた。

VI 総括

教育と研究はバランスよく取り組むよう努め、当初の目標は概ね達成することができた。大学運営は、キャリア支援科目担当者として、従来まで学生支援に関する方向性を模索してきた点を含め、新たに学生委員会委員長として活動を開始することができた。引き続き貢献できるよう取り組む所存である。社会貢献は教育と関連して行うことをめざし、教育・研究・大学運営を三位一体と考え社会貢献につながるよう、行政・NPO・企業との連携構築を継続して、研究所定例研究会の企画・開催などを進めることができた。今後さらなる充実をはかりたい。

以 上